

2026年度 学科別授業科目一覧表（実務経験表記あり）

課程：工業専門課程

学科：

ウェブ・メディア科

NO.	授業科目	学年	授業時間数	単位	必須・選択	講義・実習	実務経験
1	HTML/CSS I	1	60	4	必修	実習	有
2	HTML/CSS II	1	90	6	必修	実習	有
3	JavaScriptプログラミング I	1	60	4	必修	実習	有
4	JavaScriptプログラミング II	1	60	4	必修	実習	有
5	Webデザイン実践	1	15	1	必修	実習	有
6	データベース演習(SQL)	1	30	2	必修	実習	有
7	ポートフォリオ制作	1	60	4	必修	実習	有
8	進級制作 I	1	30	2	必修	実習	有
9	進級制作 II	1	60	4	必修	実習	有
10	業界研究	1	30	2	必修	講義	有
11	デザイン基礎 I	1	30	2	必修	講義	有
12	デザイン基礎 II	1	30	2	必修	講義	有
13	アプリケーション演習 I	1	60	4	必修	実習	有
14	アプリケーション演習 II	1	30	2	必修	実習	有
15	アルゴリズム(前期)	1	30	2	必修	講義	有
16	アルゴリズム(後期)	1	30	2	必修	講義	無
17	Office基礎	1	30	2	必修	実習	有
18	色彩検定対策	1	15	1	必修	講義	有
19	IT資格対策 I	1	30	2	必修	講義	有
20	IT資格対策 II	1	30	2	必修	講義	有
21	基礎学力	1	30	2	必修	講義	無
22	就職対策 I	1	30	2	必修	講義	有
23	プレゼンテーション I	1	30	2	必修	実習	有
24	体育実習 I	1	30	2	必修	実習	無
25	課外活動 I	1	15	1	選択	実習	無

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2026		1年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	実習	HTML/CSS I		榎本 博文	有	4単位 60時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
ウェブページを構成する主要な要素である HTML/CSSの基本的な記述方法と役割を理解し、演習を通じて、ウェブサイト制作に必要な基礎的な技術の習得を目指す。																					
【講義概要】																					
HTML/CSSの基本的な知識および記述方法について学習し、演習や課題制作に取り組むことで、ウェブページ制作に対する理解を深める。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	ウェブサイト制作のための環境構築（制作の流れ、エディタの使い方、HTMLの基本構造）																				
2	自己紹介サイト制作①（HTMLの基本構造を用いた簡単なページ制作）																				
3	自己紹介サイト制作②（Google Map・YouTubeの埋め込みを通じた外部コンテンツの活用）																				
4	HTMLの基礎①（見出し・段落など、文書構造の理解）																				
5	HTMLの基礎②（リスト・グループ化要素による情報整理）																				
6	CSSの基礎①（CSSの役割理解、CSSファイルの読み込み）																				
7	HTML応用（テーブル、リンク、画像の挿入）																				
8	小テスト①（HTML・CSS基礎内容の理解度確認）																				
9	CSSの基礎②（文字装飾・色・余白など基本スタイル設定）																				
10	CSSの基礎③（レイアウトを意識した各種スタイル設定）																				
11	CSS応用①（ボックスモデル、背景画像の設定）																				
12	CSS応用②（Flexboxを用いたレイアウト手法）																				
13	小テスト②（HTML/CSSの基礎～応用の理解度確認）																				
14	課題ウェブサイト制作①（テーマ設定・構成設計・制作）																				
15	課題ウェブサイト制作②（制作・調整・まとめ）																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>80%</td><td></td><td></td><td>20%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	80%			20%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	80%			20%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
ウェブ制作会社・代理店などでウェブデザイナー、プロジェクトマネージャーなど業務に従事。																					
【教科書・参考文献】																					
スラスラわかるHTML&CSSのきほん 第3版、狩野 祐東（著）、SBクリエイティブ																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2026		1年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	実習	HTML/CSS II		榎本 博文	有	6単位 90時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
HTML/CSSおよび別科目で学習したJavaScriptの知識を活用し、実践的な課題制作を通じて、企画・設計から実装までを一貫して行えるウェブサイト制作力の習得を目指す。																					
【講義概要】																					
本授業では、これまでに学習したHTML/CSSおよびJavaScriptの基礎知識を前提に、実践的なウェブサイト制作課題に取り組む。要件整理、構成設計、デザイン調整、動的処理の実装などを通じて、実務を意識した制作プロセスへの理解を深める。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	オリエンテーション（課題概要説明・制作の流れ確認）																				
2	課題テーマ理解・要件整理																				
3	情報設計（サイト構成・ページ構成の検討）																				
4	ワイヤーフレーム作成																				
5	デザイン方針策定（配色・レイアウト検討）																				
6	HTML構造設計（セマンティックなマークアップ）																				
7	CSS設計（レイアウト・レスポンス対応）																				
8	中間確認①（進捗チェック・フィードバック）																				
9	JavaScript活用①（既習内容を用いた動的処理の実装）																				
10	JavaScript活用②（ユーザー操作を意識した機能実装）																				
11	UI/UX改善（使いやすさ・視認性の調整）																				
12	デバッグ・動作確認																				
13	中間確認②（完成度チェック・改善点整理）																				
14	最終調整・仕上げ																				
15	成果物提出・講評・振り返り																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>50%</td><td></td><td>10%</td><td>40%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	50%		10%	40%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	50%		10%	40%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
ウェブ制作会社・代理店などでウェブデザイナー、プロジェクトマネージャーなど業務に従事。																					
【教科書・参考文献】																					
-																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科	2026	1年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	JavaScriptプログラミング I	榎本 博文	有	4単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

JavaScriptの基本的な文法と役割を理解し、ウェブページに動きや簡単な処理を加えるための基礎的なプログラミング技術を習得する。

【講義概要】

JavaScriptの基本構文、変数、条件分岐、繰り返し処理などの基礎を学習する。
また、DOM操作を通じてHTML要素を制御し、簡単なインタラクションを持つウェブページを制作する。

回	授業計画及び学習の内容
1	JavaScriptとは何か／役割と実行環境
2	JavaScriptの記述方法（scriptタグ・外部ファイル）
3	変数・定数・データ型
4	演算子と式
5	条件分岐（if文、比較演算子）
6	繰り返し処理（for文、while文）
7	関数の基礎
8	小テスト①
9	配列とオブジェクト
10	DOMとは何か／要素の取得
11	DOM操作（テキスト・属性・スタイル変更）
12	イベント処理（クリック・入力イベント）
13	簡単なフォーム制御
14	ミニ課題制作
15	まとめ・課題提出

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	課題レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	50%	10%	20%	20%		100%

（補足） 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること

【教員紹介】

ウェブ制作会社・代理店などでウェブデザイナー、プロジェクトマネージャーなど業務に従事。

【教科書・参考文献】

-

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2026		1年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	JavaScriptプログラミングⅡ		山田 忍	有	4単位 60時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
前期で学んだJavaScriptの基本を踏まえ、ウェブ上での振る舞いやウェブアプリケーションへの実装方法を理解する							
【講義概要】							
Webサイトやウェブアプリケーションを作成しながらJavaScriptをより深くまで学ぶ 各講義では授業の理解度を測るために課題の提出を求める。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	ガイダンス JavaScriptの基本 前期復習（計算、変数、配列、オブジェクト、データ型、関数、DOM操作）						
2	基本のデータ操作 非同期処理						
3	基本のデータ操作 正規表現、フォーム操作						
4	基本のデータ操作 オブジェクト、クラス						
5	基本のデータ操作 Canvasについて☒						
6	モジュールについて						
7	様々なライブラリについて						
8	課題 Webページ上で扱う						
9	課題 Webページ上で扱う						
10	課題 アプリケーション作成						
11	課題 アプリケーション作成						
12	総合演習課題						
13	総合演習課題						
14	総合演習課題						
15	総合演習課題						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	60%	20%		20%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
【教員紹介】							
大学院にてコミュニケーションデザイン/グラフィックデザインについて研究。 専門学校やエンタメ業界にてウェブ広報/ウェブデザイナーとして企画・制作業務に従事☒							
【教科書・参考文献】							
オリジナル教材							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2026		1年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	実習	Webデザイン実践		山田 忍	有	1単位 15時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
Webデザインを行ううえで必要な基礎知識を身につける。 UI制作に必要なアプリケーションを使いこなす。																					
【講義概要】																					
Figmaを使用してWebデザインの手法について学ぶ。 関連科目と連携した制作課題を行う。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	オリエンテーション 「Webデザインの流れを学ぶ、必要な環境とツールについて」																				
2	ワイヤーフレームの作り方を学ぶ。 演習：ワイヤーフレーム制作																				
3	デザインツールFigmaの使い方を学ぶ 基本操作・画像の書き出し																				
4	デザインツールFigmaの使い方を学ぶ 演習：Figmaを使用したデザイン制作																				
5	デザインツールFigmaの使い方を学ぶ 演習：Figmaを使用したPC・スマホUI制作																				
6	デザインツールFigmaの使い方を学ぶ 演習：Figmaを使用したプロトタイプ制作																				
7	デザインガイドライン、レイアウトルール、デバイス特性を学ぶ。画像の解像度・拡張子について																				
8	感覚を言語化してデザインに落とし込む方法「レイアウト、フォントの選択、配色」																				
9	演習：ヘッダーデザイン、ヒーローイメージデザイン、ナビゲーションデザイン																				
10	演習：ボタンデザイン、アイコンデザイン、背景デザイン																				
11	演習：サイト全体のレイアウトデザイン																				
12	制作課題「Webデザイン制作」ワイヤーフレームをもとWebサイトのデザインを制作する																				
13	制作課題「Webデザイン制作」ワイヤーフレームをもとWebサイトのデザインを制作する																				
14	制作課題「Webデザイン制作」ワイヤーフレームをもとWebサイトのデザインを制作する																				
15	制作課題「Webデザイン制作」ワイヤーフレームをもとWebサイトのデザインを制作する																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他（ ）</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>60%</td> <td></td> <td>20%</td> <td>20%</td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	60%		20%	20%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	60%		20%	20%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
大学院にてコミュニケーションデザイン/グラフィックデザインについて研究。 専門学校やエンタメ業界にてウェブ広報/ウェブデザイナーとして企画・制作業務に従事																					
【教科書・参考文献】																					
オリジナル教材																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2026		1年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	データベース演習(SQL)		川前 亘	有	2単位 30時間	

【授業の到達目標及びテーマ】

BMSの基本機能を理解する。
またSQLの基本文法を理解し、SQLを用いたデータ操作ができることを目標とする。

【講義概要】

教科書、プロジェクト、プリントを使用しDBの基本知識を身につけつつ、
xamppを用いてMySQLによるSQL演習（SQLエディタとしてA5M2を使用）を行う。

回	授業計画及び学習の内容	
1	【講義】1章:RDBとSQL(SELECT文)	【演習】dokoSQLによるSQL(SELECT文)
2	【講義】2章:SQL(4大命令)	【演習】dokoSQLによるSQL(4大命令)
3	【講義】2章:SQL(4大命令 補強)	【演習】XAMP & A5MK2 & MySQL(環境設定、SQL実行)
4	【講義】3章:SQL(絞込:WEHRE)	【演習】XAMP & A5MK2 & MySQL(4大命令 補強)
5	【講義】3章:主キーとSQL	【演習】XAMP & A5MK2 & MySQL(絞込:WHERE)
6	【講義】中間対策	【演習】XAMP & A5MK2 & MySQL(主キー)
7	【中間試験】	
8	【講義】4章:SQL(検索結果の加工①)	【演習】XAMP & A5MK2 & MySQL(検索結果の加工①)
9	【講義】4章:SQL(検索結果の加工②)	【演習】XAMP & A5MK2 & MySQL(検索結果の加工②)
10	【講義】6章:SQL(集計①)	【演習】XAMP & A5MK2 & MySQL(集計①)
11	【講義】6章:SQL(集計②)	【演習】XAMP & A5MK2 & MySQL(集計②)
12	【講義】8章:SQL(結合①)	【演習】XAMP & A5MK2 & MySQL(結合①)
13	【講義】8章:SQL(結合②)	【演習】XAMP & A5MK2 & MySQL(結合②)
14	【講義】SQL(WHEREを使った複数表検索)	【演習】XAMP & A5MK2 & MySQL(WHEREを使った複数表検索)
15	【期末試験】	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計
割合	80%			20%		100%

(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること

【教員紹介】

大手化学系メーカーで社内SEを経験後、独立系Silerでシステム開発経験有
基本情報処理技術者、応用情報処理技術者資格を保有

【教科書・参考文献】

スッキリわかるSQL入門(株式会社インプレス)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2026		1年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	ポートフォリオ制作		黒澤 純一	有	4単位 60時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
<p>学生が自身の制作実績やスキルを体系的に整理し、就職活動に活用できるポートフォリオを完成させる。作品を単に並べるだけでなく、「何を考え、どのように制作し、どのような価値を提供できるか」を言語化し、自己の強みを他者に伝えられる構成力・表現力を身につける。</p>							
【講義概要】							
<p>これまでの学習成果や制作作品を整理し、WebまたはPDF等の形式でポートフォリオとして構築する。また、個別指導やレビューを通じてブラッシュアップを行う。</p>							
回	授業計画及び学習の内容						
1	ガイダンス・ポートフォリオの役割理解、事例・作品紹介						
2	構成設計（作品棚卸し・掲載作品の選定、コンセプト・自己ブランディング整理）						
3	構成設計（続き）						
4	ワイヤーフレーム・情報設計						
5	ワイヤーフレーム・情報設計						
6	ワイヤーフレーム・情報設計						
7	デザイン制作						
8	デザイン制作						
9	デザイン制作						
10	コーディング・各種制作						
11	コーディング・各種制作						
12	コーディング・各種制作						
13	ポートフォリオプレゼン						
14	課題制作						
15	課題制作						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	50%			50%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
【教員紹介】							
エンタメ・デザイン・映像関連企業にて企画・制作業務に従事							
【教科書・参考文献】							
講義内容に沿ったテキストの配布							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2026		1年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門	必修	進級制作 I		黒澤 純一	有	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
専門分野の学習を始めるにあたり、制作に必要な基礎的な考え方や姿勢を身につける。また、個人制作に入る前段階として、テーマ設定、情報整理、企画構成、アウトプットまでの流れを体験し、「考えてから作る」制作プロセスの理解をテーマとする。							
【講義概要】							
制作経験の浅い段階において、企画からアウトプットまでの基本的な流れを実践的に学ぶ。課題制作を通して、テーマ理解、構成の考え方、表現の工夫、発表の基礎などを段階的に体験する。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	ガイダンス、進級/卒業制作など2年間での制作に関する概要						
2	ワーク（制作に必要な思考力やコミュニケーション力を養う）						
3	ワーク（制作に必要な思考力やコミュニケーション力を養う）						
4	ワーク（制作に必要な思考力やコミュニケーション力を養う）						
5	企画の基本構造を知る						
6	構成を考える演習						
7	実践 課題制作①						
8	実践 課題制作②						
9	実践 課題制作③						
10	中間発表・共有						
11	改善・ブラッシュアップ						
12	最終発表						
13	振り返り・次学期への接続						
14	課題制作						
15	課題制作						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	50%			50%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
【教員紹介】							
エンタメ・デザイン・映像関連企業にて企画・制作業務に従事							
【教科書・参考文献】							
講義内容に沿ったテキストの配布							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2026		1年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門	必修	進級制作Ⅱ		黒澤 純一	有	4単位 60時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
これまでに身につけた技術や知識を活用し、自ら課題を設定し、企画から制作・発表までを一貫して行う力を養い、最終的に成果物の作品を学園祭で展示する。																					
【講義概要】																					
個人またはチームでの制作を通して、企画立案・構成・デザイン・実装・発表までを実践的に行う。テーマを設定し、リサーチや検討を重ねながら制作を進めることで、単なる課題制作にとどまらない「意図のある作品づくり」を学ぶ。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	ガイダンス・進級制作の目的理解、企画検討																				
2	テーマ設定とリサーチ、プレゼン資料の作成																				
3	企画書プレゼン																				
4	制作、レビュー																				
5	制作、レビュー																				
6	制作、レビュー																				
7	中間成果プレゼンテーション																				
8	制作、レビュー																				
9	制作、レビュー																				
10	制作、レビュー																				
11	制作、レビュー																				
12	制作、レビュー																				
13	最終成果プレゼン																				
14	課題制作																				
15	課題制作																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他（ ）</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>50%</td> <td></td> <td></td> <td>50%</td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	50%			50%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	50%			50%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
エンタメ・デザイン・映像関連企業にて企画・制作業務に従事																					
【教科書・参考文献】																					
講義内容に沿ったテキストの配布																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2026		1年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
基礎専門	必修	業界研究		大武 政満	有	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
<p>どんな職業でも相手に何をやりたいかを伝えるためのツール「企画書」は必須である。だが社会の仕事は様々な人に関わることが多く、多種多様な価値観が必要となる。そこで、自分の推すプロジェクトを成立させるための企画書作りとそれを実現させるための方法と価値観を学んでいこう。目標は企画書を作り出すあなた自身の魅力を高めることである。</p>							
【講義概要】							
<p>クリエイティブの発想力を養いながら企画書の作りかたを学びつつ、座学とゲスト講師を通じて、様々なクリエイティブ業界の構造と仕事のスタイルについて学ぶ。また、不定期にクリエイティブ業界について現役の方を呼び、簡単なお話と質疑応答などを行う。その場合は簡単なレポートを書く。テストは発想力を試すテストを行い、テストの点と企画書におけるブラッシュアップの力を採点に置いて重視する。</p>							
回	授業計画及び学習の内容						
1	授業ガイダンス・企画書の説明と逆企画書の説明（推しのコンテンツを企画書化するに当たって題材の選定）						
2	逆企画書作成・フィードバック						
3	逆企画書プレゼン・人狼で企画を作ろう						
4	人狼の1P企画書・業界仕事の進め方フローや役割						
5	ゲームジャンル&アプリゲーム簡易企画書						
6	ゲーム企画書まとめOR業界ゲスト						
7	中間試験						
8	ゲーム企画書作成・お話の構造とフローチャートについてOR業界ゲスト						
9	ゲーム企画書作成・絵コンテ・イラストをつける						
10	ゲーム企画書作成・ブラッシュアップOR業界ゲスト						
11	ゲーム企画書プレゼン						
12	ゲーム企画書まとめOR業界ゲスト						
13	ゲーム企画書まとめOR業界ゲスト						
14	まとめ						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（コミュニケーション力）	合計	
割合	40%	10%	10%	20%	20%	100%	
<p>(補足) 柔軟な発想力と課題を提出するだけでなく、課題の精度を高めるために直しを受けて直せる能力を高く評価する。 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること</p>							
【教員紹介】 大武政満							
<p>脚本家・コンテンツプランナー 代表作：ダンボール戦機、天華百剣、ニンジャラ 専門学校&サブカル教室講師歴18年。企画と漫画・小説シナリオ・声優関連などで教鞭をとる 現役でアニメ脚本、大手ゲーム会社のシナリオ、漫画のネーム作家などを担当 第三回東北新社・ファミリー劇場協賛アニメ企画大賞にて奨励賞受賞（2005年）</p>							
【教科書・参考文献】							
-							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象
工業専門課程		ウェブ・メディア科	2026	1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験
基礎専門 必修	講義	デザイン基礎 I	福屋 貞行	有
単位・時間数				
2単位 30時間				

【授業の到達目標及びテーマ】

初めて「デザイン」を学ぶ学生に向けてレイアウト・文字組み等のグラフィック知識、およびWebデザインを学習します。「アート」と「デザイン」の違いを理解し、情報をいかに効率よく間違いなく伝えるかのデザインルールを学習します。座学学習と実習学習を相互に取り入れ、講義の終盤では、実践演習を行います。常にものづくりへのアンテナを張り、街中に溢れているデザイン、UI/UXを意識し「何故そのデザインなのか？」と考える力を養うことを目的とします。

【講義概要】

事業形態は、講義が中心となります。
前半は教本を使用した座学が中心です。
後半は授業の前日に課題を提出（主に紙、WEBのデザイン）していただき、プレゼンテーション、講評を行います。

回	授業計画及び学習の内容
1	教本【デザイン入門教室】リサーチ課題：広告集め
2	教本【デザイン入門教室】
3	教本【デザイン入門教室】リサーチ課題：広告集め講評1
4	教本【デザイン入門教室】
5	教本【デザイン入門教室】
6	教本【デザイン入門教室】実践演習1 Vol.01：チラシ制作（課題出題）
7	実践演習1 Vol.01：チラシ制作(中間講評)
8	実践演習1 Vol.02：チラシ制作(最終講評)、実践演習2 Webサイト制作1(課題出題)
9	実践演習2 Vol.01：Webサイト制作1(中間講評1)
10	実践演習2 Vol.02：Webサイト制作1(中間講評2)
11	実践演習2 Vol.03：Webサイト制作1(最終講評)、実践演習3 Webサイト制作2(課題出題)
12	実践演習3 Vol.01：Webサイト制作2(中間講評1)
13	実践演習3 Vol.02：Webサイト制作2(中間講評2)
14	実践演習3 Vol.03：Webサイト制作2(最終講評)、実践演習4 Webサイト制作3(課題出題)
15	実践演習4 Vol.01：Webサイト制作3(中間講評1)※後期も継続

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	100%					100%

(補足)
・課題は必ず時間厳守での提出を、お願いいたします。
・授業内容が変更となる場合がございます。(事前にお知らせします)
・授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。

【教員紹介】

現在はIT企業の制作部門で、制作からマネジメントに従事しております。
よろしくお願いたします。

【教科書・参考文献】

デザイン入門教室

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		ウェブ・メディア科	2026		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	講義	デザイン基礎Ⅱ	福屋 貞行	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

本講義では、初めて「デザイン」を学ぶ学生に向けてレイアウト・文字組み等のグラフィック知識、およびWebデザインを学習します。
 「アート」と「デザイン」の違いを理解し、情報をいかに効率よく間違いなく伝えるかのデザインルールを学習する。(前期と同様)
 デザイン自体を表層的なものとするのではなく、あらゆるものに該当し、例えばプログラミングなどで表現できる動きやUI/UXもデザインの一部だと理解する。
 実制作を中心に経験を積み、相手に伝わるデザイン、プレゼンテーションを心掛ける。
 作って終りではなく、しっかりと振り返りをし、より完成に近づける姿勢を身に付ける。

【講義概要】

教科書をベースに、デザインの基礎を習得し、並行して作品を制作していただきます。

回	授業計画及び学習の内容
1	コンテスト課題など個人講評 作品提出直前講評
2	前期課題「フライヤー」最終講評法則vol.01】 前期最終課題のA4サイズフライヤーの最終講評
3	名刺作成 講評 イラストレーターを使用した名刺の講評
4	優れたUI/UX (第1回) 身近にある優れたUI/UXの既製品(ゲームなどでも可)をリサーチし、グループワークにて、プレゼン資料としてまとめる
5	優れたUI/UX (第2回) 第4回のプレゼンを行う(チームの全員がスピーカーとして話す)
6	フリーデザイン (課題説明) 自らモチーフを決めて、作品を作る課題の方向性確認。提出形態は自由。
7	中間試験
8	美術館、展覧会レポート 提示された中から1つ興味のある催事を選び、感想(得たもの、感じたこと、自分との対比、今後の方向性など)をレポートにまとめてプレゼン
9	美術館、展覧会レポート、ポートフォリオ 初回チェック 第7回の続きと、ポートフォリオの初回チェック(方向性と不足要素の確認)
10	ポートフォリオ 初回チェック 第8回の続き
11	フリーデザイン 作品プレゼン 第6回フリーデザインのプレゼンと講評
12	ポートフォリオ 中間チェック(個人) ポートフォリオプレゼン前の確認
13	ポートフォリオ プレゼン(第1回) ポートフォリオを使用し、より実践に近いプレゼンを行う出題)
14	ポートフォリオ プレゼン(第2回)、総表 ポートフォリオを使用し、より実践に近いプレゼンを行う
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計
割合	60%		10%	30%		100%

(補足)
 ・課題は必ず時間厳守での提出を、お願いいたします。
 ・授業内容が変更となる場合がございます。(事前にお知らせします)
 ・授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。

【教員紹介】

現在はIT企業の制作部門で、制作からマネジメントに従事しております。
 よろしくお願いたします。

【教科書・参考文献】

やさしいデザインの教科書[改訂版]

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2026		1年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門基礎 必修	実習	アプリケーション演習 I		黒澤 純一	有	4単位 60時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
Adobe Photoshop の基本的な技術習得を目指す。 また、課題制作を兼ねた各種資格・デザインコンテストの入賞を目指す。																					
【講義概要】																					
Adobe Photoshop の基本的な操作方法とデザインの概要を学習し、 学習した内容を基に各種課題の制作に取り組むことで理解を深める。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	講義概要、Adobe Photoshopの基本情報について、できることや現代の使い方について、基本操作の演習																				
2	画像編集の基本を知る①（ドキュメントサイズと設定項目、解像度、ワークスペース、レイヤーの概念）																				
3	画像編集の基本を知る②（画像の切り抜き、明るさ/色の調整、選択範囲とマスク、レタッチ、画像合成など）																				
4	画像ファイルの扱い方を知る（ベクターとラスター形式の違い、ファイル形式の種類、画像の最適化について）																				
5	ポスター制作を通じてPhotoshopが得意なデザインを学ぶ（写真のレタッチ、レイヤースタイル、フィルターなど）																				
6	確認テスト																				
7	画像素材の持つ効果や特性について学ぶ（ウェブサイトや広告での画像の使い方、写真の構図について）																				
8	画像編集の表現の幅を広げる演習（高度なレタッチ・合成、立体表現など）																				
9	ウェブ広告のデザイン制作（種類とその役割について知る、各種バナー広告のデザイン制作）																				
10	課題 デザイン制作① 制作物の概要説明、実践的な制作フローに基づいて制作する																				
11	課題 デザイン制作② 制作																				
12	課題 デザイン制作③ 完成、作品発表																				
13	課題 各種コンテストや本校のイベントに関するデザイン制作																				
14	課題制作																				
15	課題制作																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他（ ）</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>70%</td> <td></td> <td></td> <td>30%</td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	70%			30%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	70%			30%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
エンタメ・デザイン・映像関連企業にて企画・制作業務に従事																					
【教科書・参考文献】																					
講義内容に沿ったテキストの配布																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象
工業専門課程		ウェブ・メディア科	2026	1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験
専門基礎 必修	実習	アプリケーション演習Ⅱ	黒澤 純一	有
単位・時間数				
2単位 30時間				

【授業の到達目標及びテーマ】

Adobe Illustrator の基本的な技術習得を目指す。
また、課題制作を兼ねた各種資格・デザインコンテストの入賞を目指す。

【講義概要】

Adobe Illustrator の基本的な操作方法とデザインの概要を学習し、
学習した内容を基に各種課題の制作に取り組むことで理解を深める。

回	授業計画及び学習の内容
1	講義概要、Adobe Illustratorの基本情報について、できることや現代の使い方について、基本操作の演習
2	ドローソフトの基本を知る①（ドキュメントサイズと設定項目、解像度、ワークスペース、レイヤーの概念）
3	ドローソフトの基本を知る②（各種図形の描画、パスの操作/描画、オブジェクトの塗りと線など）
4	画像ファイルの扱い方を知る（ベクターとラスター形式の違い、ファイル形式の種類、画像の最適化について）
5	確認テスト
6	チラシ制作を通じてIllustratorが得意なデザインを学ぶ（デザインの4原則の意識、印刷用の各種設定など）
7	ロゴやアイコン素材の持つ効果や特性について学ぶ（各種メディアでの使い方など）
8	課題 名刺作成① 概要説明、デザイン考案
9	課題 名刺作成② 制作
10	課題 名刺作成③ 制作
11	課題 名刺作成④ 制作
12	課題 名刺作成⑤ 完成、印刷会社へ入稿
13	課題 各種コンテストや本校のイベントに関するデザイン制作
14	課題制作
15	課題制作

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	70%			30%		100%

（補足） 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること

【教員紹介】

エンタメ・デザイン・映像関連企業にて企画・制作業務に従事

【教科書・参考文献】

講義内容に沿ったテキストの配布

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2026		1年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
基礎 必修	講義	アルゴリズム(前期)		坂井 剛	有	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
プログラミングにおいて処理の基本となるアルゴリズムの基礎を学習する。 また、本講義は基本情報技術者試験科目Bの対策を視野に入れた内容となる。							
【講義概要】							
課題演習として指定したアルゴリズムをフローチャート、およびプログラムとして作成する課題を出題する。 ※本講義は基本情報技術者試験（FE）取得で免除となる。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	アルゴリズムとは、フローチャート、疑似言語						
2	変数、データ型、演算						
3	比較分岐						
4	繰り返し処理						
5	高度な条件分岐と繰り返し						
6	配列、リスト、構造体						
7	中間試験						
8	定義済処理（関数）						
9	キュー、スタック、木構造						
10	配列探索①						
11	配列探索②						
12	値の挿入、削除						
13	ソート						
14	重複排除、文字列探索						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
	割合	70%			30%		100%
	(補足)	単位修得のためには指定された課題演習を提出することが必須となる。 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。					
【教員紹介】							
大学院卒業後、SEとして8年間開発業務に携わる。2010年より本校の教員として勤務。							
【教科書・参考文献】							
「ITワールド」（インフォテックサーブ） 「[改訂新版] 基本情報技術者【科目B】 アルゴリズム×疑似言語トレーニングブック」（技術評論社） 「基本情報技術者【科目B】 ゼロからわかるアルゴリズムと疑似言語」（技術評論社）							

東京電子専門学校 ウェブ・メディア科

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2026		1年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
基礎専門 必修	講義	アルゴリズム(後期)		安藤 真理	無	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
基本情報技術者試験（F E）の取得を目指すため、科目Bの過去問などや主に出題されるアルゴリズムを学習する。																					
【講義概要】																					
基本情報技術者試験は過去問から出題されるので、過去問の学習および理解を深める。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	基本情報技術者試験の科目Bについて 前期のアルゴリズムの復習																				
2	擬似言語 分岐と繰り返し																				
3	配列①、再帰																				
4	配列②																				
5	二次元配列																				
6	中間試験対策																				
7	中間試験解説																				
8	探索																				
9	リスト①																				
10	リスト②																				
11	木構造、ハッシュ表																				
12	整列①																				
13	整列②																				
14	期末試験対策																				
15	期末試験解説																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>80%</td><td></td><td></td><td>20%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	80%			20%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	80%			20%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
大学院在学時より小学校ICT支援員とPCクラブ講師に従事。中学数学科・技術科、高校情報科の教員、専門学校にて外国人留学生に教えるなど様々な教育現場に従事した経験を持つ。																					
【教科書・参考文献】																					
基本情報技術者[科目B]アルゴリズムとプログラミング トレーニング 問題集(第2版) (大原出版)																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2026		1年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
基礎専門 必修	実習	Office基礎		佐藤 薫	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
Office (Word、Excel、PowerPoint) の基本操作とGoogleアプリ (ドキュメント、スプレッドシート、スライド) の機能を習得する。Wordは基本的な文書作成、Excelは関数を含む表作成とグラフ作成まで、PowerPointはプレゼンテーションの作成全般を学習し、Googleアプリでは文書の作成とファイル設定や共有などの機能も理解することが目標。																					
【講義概要】																					
Windows版のOfficeの基本操作を実習を通して学び、その後、Googleアプリの使用方法を実習する。OfficeとGoogleアプリは画面や操作性は違うが同様の基本機能があるので、どちらの操作も習得すること。Officeは教科書を使用し、Googleアプリは資料を配布。毎回、1~2問の課題を配布するので、仕上げ必ず提出すること。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	Windowsの基本操作、Wordの基本操作、文字入力、ページ設定																				
2	Wordの書式設定 (文字書式、段落書式、印刷)、ビジネス文書の知識																				
3	Wordの表作成、画像の挿入と編集																				
4	Excelの表作成の基本操作、四則演算、合計																				
5	Excelの表の編集、関数 (合計、平均、四捨五入など)																				
6	Excelのグラフ作成と編集																				
7	PowerPointのプレゼンテーションの作成 (スライドの新規作成、ストーリー構成)																				
8	PowerPointのプレゼンテーションの編集 (レイアウトデザイン、テーマの設定、スライドマスター)																				
9	PowerPointのプレゼンテーションの編集 (画像、イラストの活用)																				
10	練習問題 (Office全般)																				
11	Googleドキュメントの作成と編集																				
12	Googleスプレッドシートの作成と編集、データのインポート																				
13	Googleスライドの作成と編集、アプリの共有設定																				
14	まとめ																				
15	まとめ																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他 ()</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>80%</td><td></td><td></td><td>20%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計	割合	80%			20%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計															
割合	80%			20%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
専門学校でOffice系の科目、派遣会社で社会人向けのOffice研修を担当。Office関連の書籍の執筆も担当																					
【教科書・参考文献】																					
情報利活用基本演習 Office2024対応 (日経BP)																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2026		1年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
基礎専門	必修	色彩検定対策		山田 忍	有	1単位 15時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
色彩について学び、その知識を作品制作に役立てる。色彩検定の取得。							
【講義概要】							
本講義では色彩検定の取得を目的とした講義を展開する。 色彩検定の受験終了後はその知識を活かすための演習を行う。 ウェブサイトの色彩設計を学ぶ。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	色彩を学ぶ意義、色彩検定について、色のユニバーサルデザイン						
2	色が見える仕組み						
3	色の表し方						
4	色覚タイプによる色の見え方						
5	高齢者の見え方、色のUDの進め方						
6	色彩検定 対策問題						
7	色彩検定 対策問題						
8	色彩検定 対策問題						
9	制作課題：Webサイトのワイヤーフレーム制作						
10	制作課題：Webサイトのワイヤーフレーム制作						
11	制作課題：Webサイトの色彩設計						
12	制作課題：Webサイトの色彩設計						
13	制作課題「Webデザイン制作」ワイヤーフレームをもとWebサイトのデザインを制作する						
14	制作課題「Webデザイン制作」ワイヤーフレームをもとWebサイトのデザインを制作する						
15	制作課題「Webデザイン制作」ワイヤーフレームをもとWebサイトのデザインを制作する						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	60%	20%		20%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
【教員紹介】							
大学院にてコミュニケーションデザイン/グラフィックデザインについて研究。 専門学校やエンタメ業界にてウェブ広報/ウェブデザイナーとして企画・制作業務に従事							
【教科書・参考文献】							
色彩検定公式テキスト、オリジナル教材							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2026		1年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門基礎 必修	講義	IT資格対策 I		川前 亘	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
情報検定(J検)情報活用試験3級および、Webリテラシーへの合格を目標とする																					
【講義概要】																					
中間試験まではJ検の中で最も易しい3級の対策を行い、情報系分野の基礎知識を習得する。 その後は上位資格として、Webリテラシーの合格対策を行う予定。 余裕があれば、途中からITパスポート対策を行う																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	イントロ / J検3級対策： 解説&過去問題演習（情報社会とコンピュータ）																				
2	J検3級対策： 解説&過去問題演習（情報機器の基本操作）																				
3	J検3級対策： 解説&過去問題演習（インターネット）																				
4	J検3級対策： 解説&過去問題演習（情報モラル）																				
5	J検3級対策： 小テスト / 解説&過去問題演習（パソコンの基礎）																				
6	J検3級対策： 解説&過去問題演習（情報表現と処理手順）																				
7	中間試験																				
8	J検3級対策： 模擬試験																				
9	J検3級対策： 模擬試験																				
10	Webリテラシー（Webデザイン実務）																				
11	Webリテラシー（Web基礎知識）																				
12	Webリテラシー（インターネットビジネス）																				
13	Webリテラシー（プロジェクトマネジメント/Webサイトの企画設計）																				
14	Webリテラシー（Webマーケティング/模擬試験）																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>75%</td><td>15%</td><td></td><td>10%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	75%	15%		10%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	75%	15%		10%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
大手化学系メーカーで社内SEを経験後、独立系Silerでシステム開発経験有 基本情報処理技術者、応用情報処理技術者資格を保有																					
【教科書・参考文献】																					
※購入時期はこちらから指定 J検3級 無料で公開されている過去問題集 ITパスポート対策：令和7年度 ITパスポート過去問題集 間久保 恭子著/株式会社インプレス Webリテラシー：Webリテラシー 公式テキスト/株式会社ポーンデジタル																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2026		1年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門基礎 必修	講義	IT資格対策Ⅱ		川前 亘	有	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
ITパスポートへの合格を目標とするが、必要に応じて他資格の対策も行う							
【講義概要】							
前期の資格対策Ⅰの後続授業として、ITパスポートの対策受講を行う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	資格対策授業の概要						
2	ITパスポート ストラテジ対策						
3	ITパスポート ストラテジ対策						
4	ITパスポート ストラテジ対策						
5	ITパスポート ストラテジ対策						
6	ITパスポート マネジメント対策						
7	中間試験						
8	中間試験試験振り返り						
9	ITパスポート マネジメント対策						
10	ITパスポート テクノロジ対策						
11	小テスト						
12	ITパスポート テクノロジ対策						
13	ITパスポート テクノロジ対策						
14	ITパスポート テクノロジ対策						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	75%	15%	0%	10%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
【教員紹介】							
大手化学系メーカーで社内SEを経験後、独立系Silerでシステム開発経験有 基本情報処理技術者、応用情報処理技術者資格を保有							
【教科書・参考文献】							
ITパスポート対策：令和7年度 ITパスポート過去問題集 間久保 恭子著／株式会社インプレス							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2026		1年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
一般教育 必修	講義	基礎学力		佐々木 一仁	無	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
①就職試験対策として必要な基礎学力を身に付ける ②現実の状況を日頃から理解し、就職活動をする意欲をもたせる																					
【講義概要】																					
①日本語の基礎知識 ②数学の基礎計算 ③SPI試験対策など																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	授業方針・就職状況・その他 計算問題（100マス計算など）																				
2	計算問題（分数・小数・混合） SPI対策問題																				
3	計算問題（分数・小数・混合四則演算・法則性） SPI対策問題																				
4	計算問題（分数・小数・混合四則演算・法則性） 日本語の基礎知識（漢字の読み																				
5	日本語の基礎知識（漢字の読み書き・四字熟語） SPI対策問題																				
6	日本語の基礎知識（四字熟語） SPI対策問題 これまでの復習																				
7	中間試験																				
8	図形問題（角度）																				
9	図形問題（面積） 計算問題（暗算）																				
10	一次方程式・不等式 SPI対策問題																				
11	連立方程式・不等式 SPI対策問題																				
12	方程式を利用した文章問題（つるかめ算） 日本語の基礎知識（漢字の読み書き）																				
13	方程式を利用した文章問題（整数・年齢算） SPI対策問題																				
14	方程式を利用した文章問題 日本語の基礎知識 SPI対策問題 これまでの復習																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他（ ）</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>80%</td> <td>10%</td> <td></td> <td>10%</td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	80%	10%		10%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	80%	10%		10%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
中学校、高等学校で20年以上にわたり生徒を指導。「わかる」授業を心掛けている。																					
【教科書・参考文献】																					
BASIC SCHOLASTIC ABILITY-試験対策に役立つ数理分野(ウイネット)																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2026		1年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
一般教育 必修	講義	就職対策 I		榎本 博文	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
グループディスカッションを通して自分自身を理解し、他者とのコミュニケーションを学ぶ。 また、就職活動の流れからソフトウェア業界の説明・会社訪問・採用試験などについて解説し、就活がスムーズに行えるように履歴書、採用面接の準備を行う。																					
【講義概要】																					
企業説明会から採用試験までの対応を解説し、ワークシートを使って自己分析を深める。 また、発表会、スピーチなどを通して人前で話す経験を積む。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	講義の説明、オリエンテーション、働く意義を学ぶ。ワーク「100のやりたいこと」など。																				
2	就職活動の概要を把握、就職活動の全体像、主なスケジュールなどの説明、社会人基礎力の理解																				
3	学生と社会人との違いの理解																				
4	グループディスカッションの進め方を学ぶ その1 実習「価値観のワーク」																				
5	グループディスカッションの進め方を学ぶ その2 実習「ボランティア」																				
6	お金の話（給与＋残業代）																				
7	中間試験																				
8	ソフトウェア業界の理解、職種の構成、SEの業務内容の理解																				
9	ワークシートを使って自己分析をする その1 パーソナリティ、長所と短所等																				
10	ワークシートを使って自己分析をする その2 心の4つの窓「ジョハリの窓」																				
11	ワークシートを使って自己分析をする その3 学生時代に力を注いだこと																				
12	ワークシートを使って自己分析をする その4 挫折経験、キャリアプラン、将来の夢																				
13	企業の採用に対する考え方などについての知識の理解とグループワークによる実践																				
14	面接試験の応答テクニック：志望動機、業務内容、自己PR、学校生活、																				
15	模擬面談練習																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他（ ）</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>50%</td> <td></td> <td>10%</td> <td>40%</td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	50%		10%	40%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	50%		10%	40%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
ウェブ制作会社・代理店などでウェブデザイナー、プロジェクトマネージャーなど業務に従事。																					
【教科書・参考文献】																					
就活スタートガイド SUCCESS																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2026		1年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
一般教育 必修	実習	プレゼンテーションⅠ		黒澤 くみこ	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
<input type="checkbox"/> 社会人としての総合力が問われる「プレゼンテーション」を学ぶことにより、社会人としての総合力を身に付ける <input type="checkbox"/> 社会人として活動することへの意識を高め、組織の中で求められるコミュニケーション力の習得 <input type="checkbox"/> 社会人基礎力（前に踏み出す力・考え抜く力・チームで働く力）を身に付ける <input type="checkbox"/> それらを就職活動に活かす																					
【講義概要】																					
社会人として求められる力について理解した上で、それを行動に移せるような「知識」と「スキル」と身に付けていただきます。講義と実習、グループワークを通じて社会人になるための準備し、それを通じて成長していただきます。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	後期授業のガイダンス、スピーチ（後期授業に向けての抱負30秒スピーチ）自己チェック「自分を知る」																				
2	印象管理、信頼される挨拶態度について、ショートスピーチ																				
3	学生と社会人の違いについて（意識変革、行動変革） ショートスピーチ																				
4	優れた自律型人材の要件（社会人としての心構えと行動について）																				
5	就職活動に必要なマナー、言葉遣い																				
6	敬語テスト、回答、																				
7	ここまでのまとめ																				
8	電話対応スキルアップ																				
9	会社訪問をイメージしたロールプレイング																				
10	ビジネスコミュニケーションケーススタディ スピーチ																				
11	コミュニケーションステップ																				
12	対人影響力とリーダーシップ																				
13	グループワーク「コンセンサスの取り付け」																				
14	総まとめ																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他（ ）</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>60%</td> <td></td> <td>10%</td> <td>30%</td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	60%		10%	30%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	60%		10%	30%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。																					
【教員紹介】																					
1988年、有限会社シービー設立 35年間に亘り企業における人材育成（コミュニケーションに重点を置いた研修）に携わる 1989年より東京電子専門学校にて、情報系の授業を担当（ビジネスマナー、表現技法、プレゼンテーション、） 著書「営業マンはお辞儀をするな」																					
【教科書・参考文献】																					
講義内容に沿ったプリントの配布																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象
工業専門課程		ウェブ・メディア科	2026	1年 通年
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験
一般教育 必修	実習	体育実習 I	ウェブ・メディア科 担当教員	無
単位・時間数				
2単位 30時間				

【授業の到達目標及びテーマ】

運動や、課外活動、学園祭を通して、健全な身体と精神を育みます。
 ハイキングは、自然の多い公園などをおおむね 4時間程度歩き、心身のバランスを図ります。
 学園祭は、各種催し物の企画、準備、実施、参加により、協調性を養います。
 心身の健全な育成を目指しています。

【講義概要】

この授業は、春と秋のハイキング、学園祭（準備2日間、学園祭2日間）の参加を以て、評価します。

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	春のハイキング
3	
4	
5	学園祭準備（1日目、2日目）
6	
7	
8	学園祭（1日目）
9	
10	
11	学園祭（2日目）、後片付け
12	
13	
14	秋のハイキング
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合				100%		100%

（補足） 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること

【教員紹介】

-

【教科書・参考文献】

-

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2026		1年 通年	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 選択	実習	課外活動 I		情報処理科 担当教員	無	1単位 15時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
企業セミナーなど外部イベントへの参加や産学連携など、外部とのかかわりを通して将来のエンジニア像の理解を深め、また就活時に役立つ知識の習得などに取り組む。							
【講義概要】							
-							
回	授業計画及び学習の内容						
1	授業としての企業セミナーや企業見学、インターンへの参加など、授業の内容として認められるイベントなどへの参加						
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合				100%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
【教員紹介】							
-							
【教科書・参考文献】							
-							